

新着図書から佐賀に関する本のご紹介

(平成27年7月21日掲載)

貸出と予約の開始は7月21日(火曜日)、インターネット予約の開始は7月28日(火曜日)です

『十字路が見える』
北方 謙三／著
新潮社 刊
肺結核を抱えて過ごした学生時代、没原稿を量産し続けた20代、行き詰まりを感じて新たな可能性に挑んだ30代…。幾度となく十字路を超えてきた著者が、人生の豊穡と黄昏を綴る自伝的エッセイ。『週刊新潮』連載を単行本化。 著者は佐賀県出身。
請求番号：914.6/ Ki,65

『墓碑を訪ねて』
高木 崇世芝／著
北海道出版企画センター 刊
伊能忠敬、村橋久成、荻野吟子…。蝦夷地・北海道にゆかりがあり、延宝6年(1678)から昭和36年(1961)までの280余年間に没した歴史上で知られた人物88名の墓碑の写真を掲げ、その人物の経歴を述べる。 佐賀藩の島義勇の記載あり。
請求番号：281.1/ Ta,29

[➡バックナンバーはこちら](#)

[➡インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

郷土資料室の新着資料一覧

[➡詳細はこちら](#)

郷土資料室の本は貸出を行っておりません。
郷土資料室での閲覧をお願いします。

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)